

第2章 市民ニーズ把握調査について

2-1 市民ニーズ把握調査のねらい

浦添市総合交通戦略の策定に当たっては、具体的に市民がどのようなサービスを求めているのか把握することが必要である。

そこで、市内の全世帯を対象とした市民ニーズ調査とワークショップで構成される市民ニーズ把握調査を実施した。また、作成した浦添市総合交通戦略（素案）に対しては、市民を対象とした意見交換会を実施し、総合交通戦略（素案）に対する意見を頂いた。

2-2 市民ニーズ調査

2-2-1 市民ニーズ調査の調査概要

浦添市内の全世帯を対象にニーズ調査を実施した。調査は、市民がどのような交通問題や課題について関心があるのか、どのような施策展開を望んでいるのかといった視点で質問項目を設定し、アンケート調査を実施した。

調査方法は、返信はがき付きの調査票を作成し、この調査票を市の広報誌と併せて各世帯に配布し、返信はがきで郵送回収する。回収数を上げるため、市ホームページの活用や市役所の1階ロビーにおいても配布・回収を行った。

その結果、回収数は1,945票となった。

表 2-1 調査概要

| | 広報誌配布 | 市役所ロビー配布 | 市ホームページ公開 |
|-------|------------------|-----------------------|-------------------|
| 配布世帯数 | 約 45,000 世帯（全世帯） | | |
| 配布方法 | 市広報誌とともに配布 | 市役所ロビーにおいて来庁者に直接配布 | 調査項目を記載したファイルを公開 |
| 回収方法 | ・ 郵送回収 | ・ 市役所での直接回収 ・ 郵送回収 | ・ 記入済みファイルをメールで回収 |
| 配布期間 | 4月下旬～5月上旬 | 6月上旬 | 4月下旬公開 |
| 回収数 | 1,945 票 | | |

2-2-2 調査結果

(1) 回答者の居住地

- 回答は市内全域より得られており、居住者の少ない伊奈武瀬を除き、各字とも人口の約1~2%の割合で回答が得られている。

問1：あなたのお住まいはどこですか？

図 2-1 回答者の字別居住地

| 大字 | 住民基本台帳 人口 | サンプル数 | 抽出率 |
|-----------|--------------|-------|------|
| 仲間 | 4,183 | 104 | 2.5% |
| 安波茶 | 4,506 | 78 | 1.7% |
| 伊祖 | 8,750 | 109 | 1.2% |
| 牧港 | 8,530 | 109 | 1.3% |
| 港川 | 6,975 | 116 | 1.7% |
| 城間 | 9,406 | 148 | 1.6% |
| 屋富祖 | 4,596 | 61 | 1.3% |
| 宮城 | 11,804 | 137 | 1.2% |
| 仲西 | 3,991 | 70 | 1.8% |
| 小湾 | 0 | 0 | - |
| 勢理客 | 4,590 | 42 | 0.9% |
| 内間 | 10,048 | 109 | 1.1% |
| 沢岨 | 4,594 | 80 | 1.7% |
| 経塚 | 4,540 | 77 | 1.7% |
| 前田 | 7,553 | 125 | 1.7% |
| 西原 | 9,833 | 120 | 1.2% |
| 当山 | 3,242 | 54 | 1.7% |
| 大平 | 5,302 | 77 | 1.5% |
| 西洲 | 0 | 0 | - |
| 伊奈武瀬 | 4 | 0 | 0.0% |
| キャンプキンザー内 | 112 | 0 | 0.0% |
| 不明 | 0 | 329 | - |
| 合計 | 112,559 | 1,945 | 1.7% |

(2) 回答者の性別と年齢

- 回答者は、男性が 41.3%、女性が 56.5%となっており、住民基本台帳の割合と比べると、女性の回答者の割合が高くなっている。
- 回答者の年齢階層では、30代が 24.8%、40代が 23.0%と住民基本台帳の割合と比べて特に多くなっている。

問 2：年齢と性別を教えてください

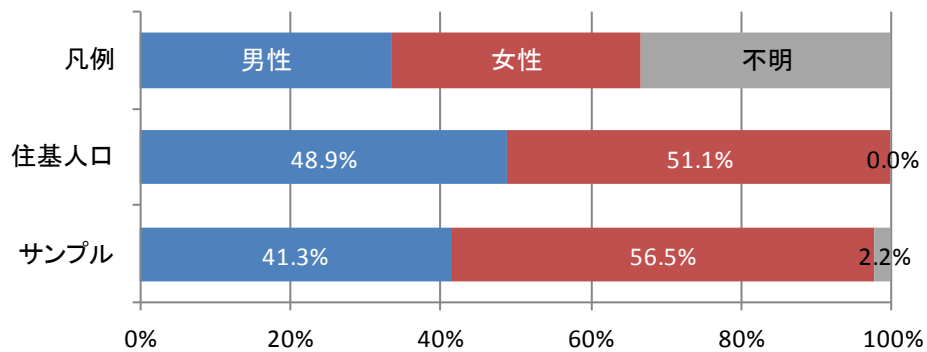


図 2-2 回答者の性別 (n=1,945 人)

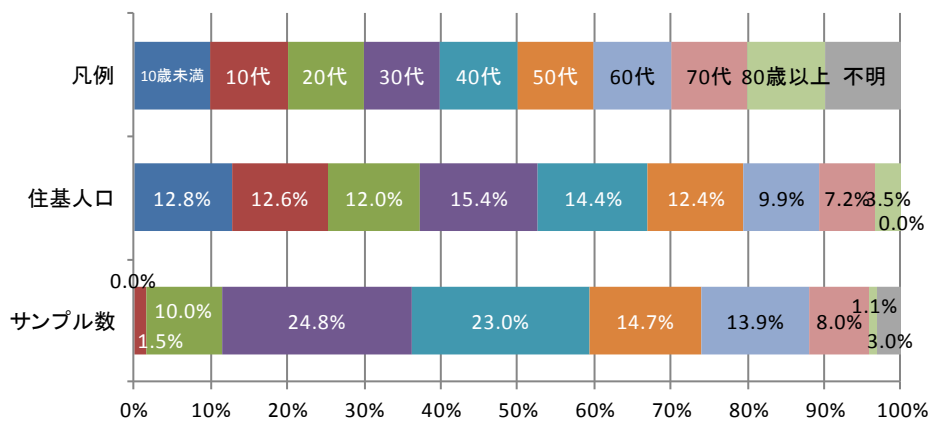


図 2-3 回答者の年齢階層 (n=1,945 人)

(3) 回答者の自動車保有について

- 回答者の59%が「ほぼ自分専用の自動車がある」と回答している。また、「家族共有の自動車がある人」は23%いる。
- 一方、自由に使える自動車を持っていない人は、15%となっている。

問3：あなたは自由に使える自動車（バイクを除く）を持っていますか？

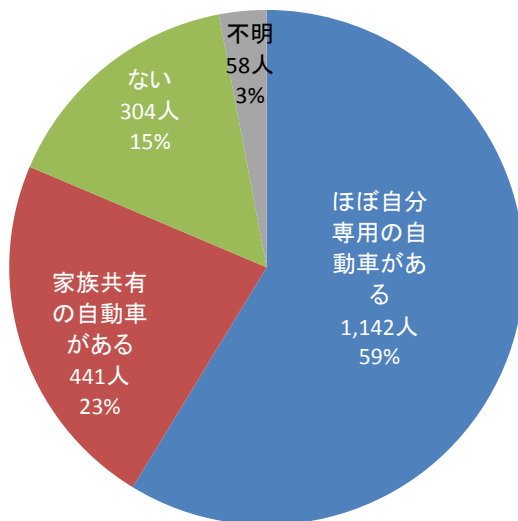


図 2-4 自動車の保有状況 (n=1,945 人)

(4) 普段の移動について

- 普段の移動について不自由を感じていない人は 53%となっている。一方で普段の移動について不自由を感じている人は 29%となっている。
- 自動車の保有状況別にみると、自分専用の自動車がない人は、ある人に比べて「移動で不自由に感じる」割合は高くなっている。さらに、自由に使える自動車がない人は「移動で不自由に感じる」割合が 67.1%と高くなっている。

問 4：普段の移動で不自由に感じることはありますか？

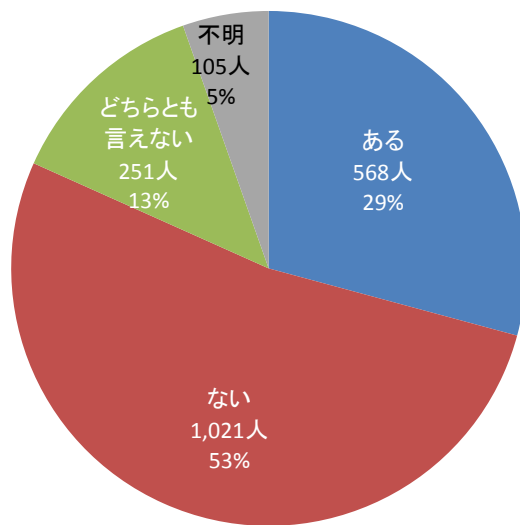


図 2-5 普段の移動での不自由さ (n=1,945 人)

問 3：あなたは自由に使える自動車（バイクを除く）を持っていますか？
 問 4：普段の移動で不自由に感じることはありますか？

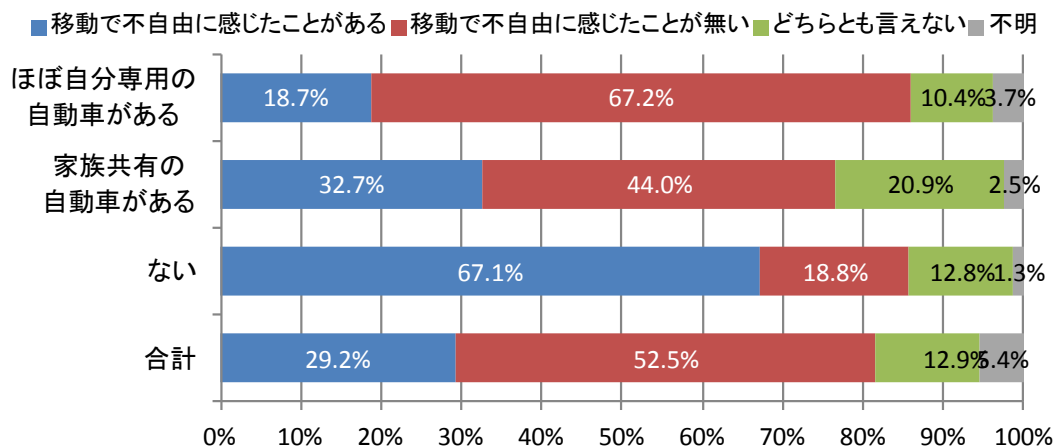


図 2-6 自動車の保有状況と移動の不自由さの関係 (n=1,945 人)

(5) 普段の移動について

- 自宅から一番近いコンビニや小中学校まで行く場合、最も多い交通手段は徒歩となっている。
- しかし多くが徒歩で移動可能にもかかわらず、自らの運転による自動車での移動を行う人も多く、コンビニの場合で 37.0%、小中学校の場合で 33.7%となっている。
- 浦添市役所へは 63.1%が、自らが運転する自動車となっている。
- 国際通りや那覇新都心へはバスでの移動が行いやすいものの、バス利用は 16.5%にとどまり、自らが運転する自動車が 62.9%となっている。

問 5：あなたが普段移動する場合、どの交通手段を使いますか？

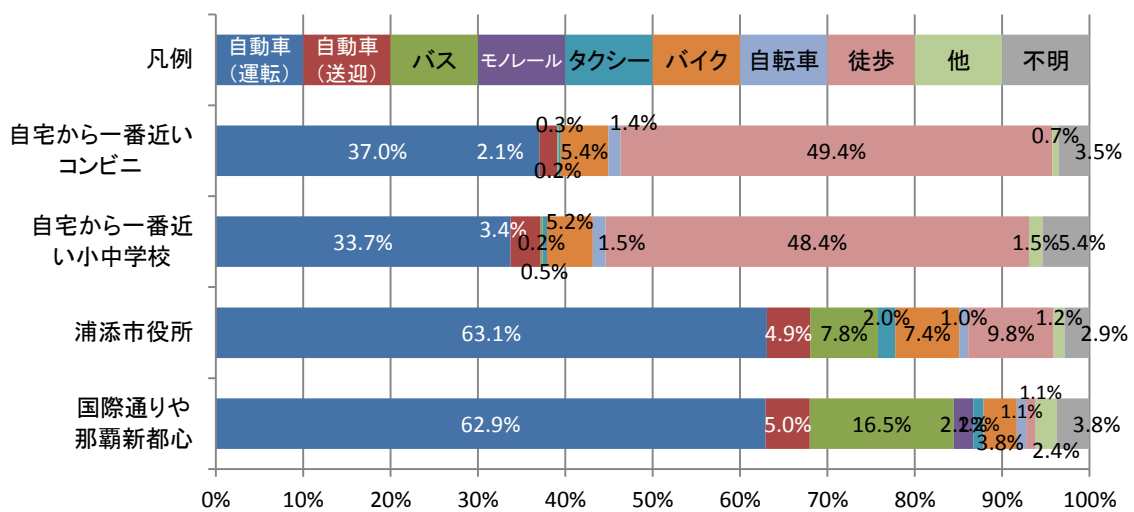


図 2-7 回答者の普段の移動手段 (n=1,945 人)

(6) 浦添市がすぐに取り組むべき課題や政策の優先順位

- 市民が考える優先すべき取り組みは、「交通安全対策や歩行・自転車走行空間の整備」が最も高い結果となった。
- 次いで、「誰もが移動しやすい交通環境の整備」、「使いやすい公共交通の創造」となっている。
- このような背景には、自宅近くで感じる交通問題として、「歩道が無いまたは狭くて歩きにくい(35.4%)」、「行きたいところへ行くバス路線が無い(34.6%)」、「バスの便数が少ない(32.0%)」と歩行者及びバスに対する問題を上位 3 位に挙げており、幹線道路の交通渋滞や自転車に関する問題が続いていることが要因として考えられる。

問 6：浦添市がすぐに取り組むべき課題や政策は何だとお考えですか？
 ※1 位=5 点、2 位=4 点、3 位=3 点、4 位=2 点、5 位=1 点で点数化

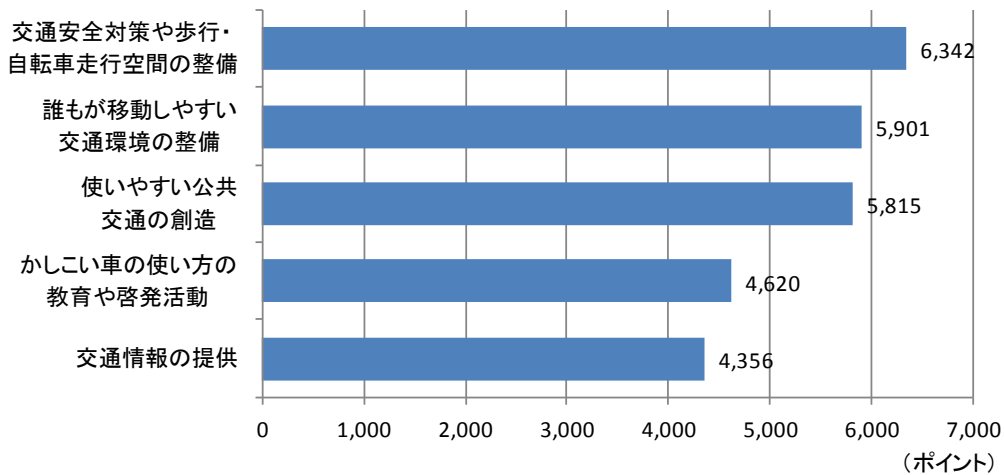


図 2-8 優先するべき政策 (n=1,945 人)

問 7：あなたの家の近くで問題だと思っている事は何ですか？ (複数回答)

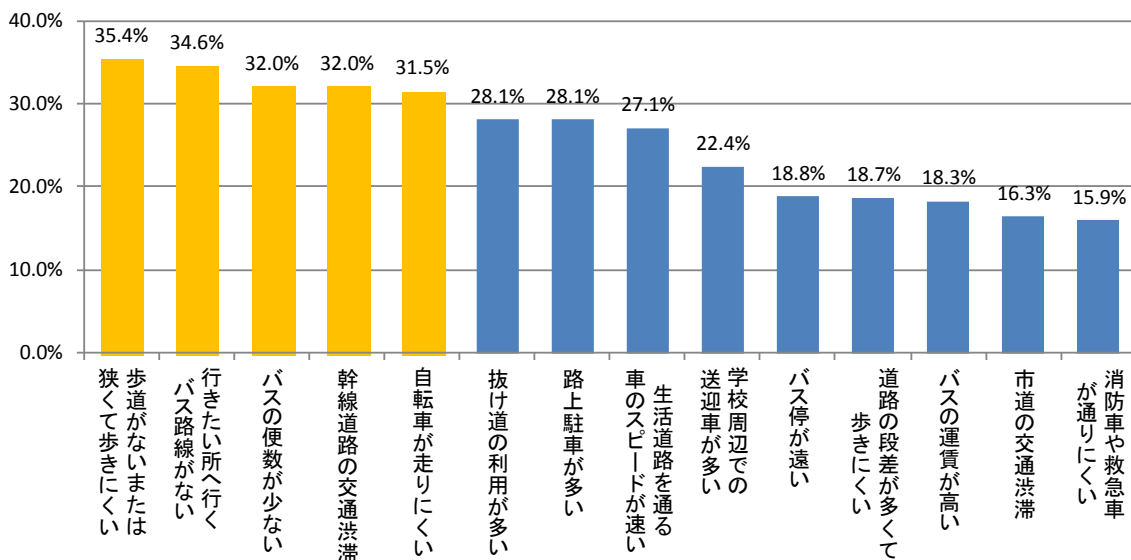


図 2-9 自宅の近くの交通問題 (n=1,945 人)

(7) 車利用を控えるために解決すべき問題

- 回答者が車を控えるために解決すべき交通問題として、「行きたいところへ行くバス路線がない」が45.4%と最も多く、「バスの便数が少ない」が44.4%と続いている。
- 2つの回答は他と比べて、選択した割合が高く、市民のニーズに合わせた利便性の高いバス路線網やサービス水準の確保が自動車利用の抑制のために必要になってくると考えられる。

問8：あなたはどの問題が解決されたら、今より車の利用を控えることができますか？

(複数回答)

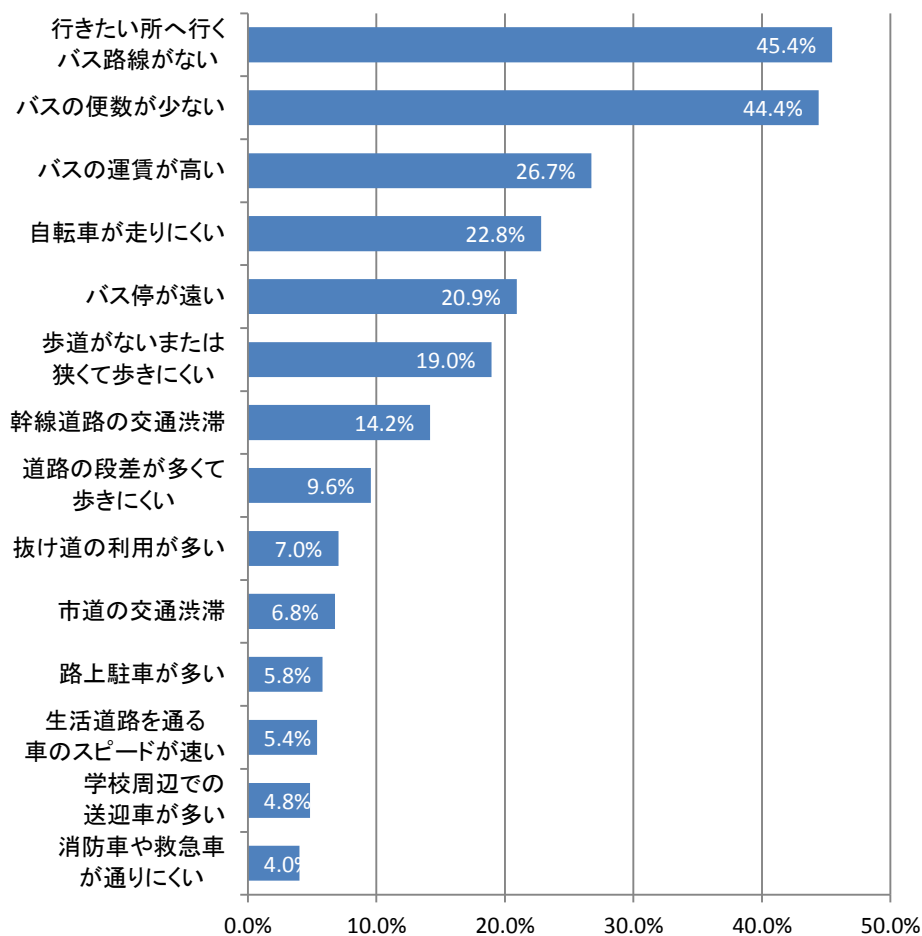


図 2-10 車利用を控えるために解決すべき問題 (n=1,945 人)

(8) 市民参画への関心

- 回答者の 59% が交通環境改善に向けた市民参画に対して関心がある。
- 総合交通戦略を策定後の施策展開に当たっては、市民の協力が不可欠であるため、今後、具体的な市民参画のスキーム作りが必要である。

問 9 : 交通環境の改善に向けた会議の参加や快適な道路空間づくり（道路の清掃や花を植える）への協力などに関心はありますか？

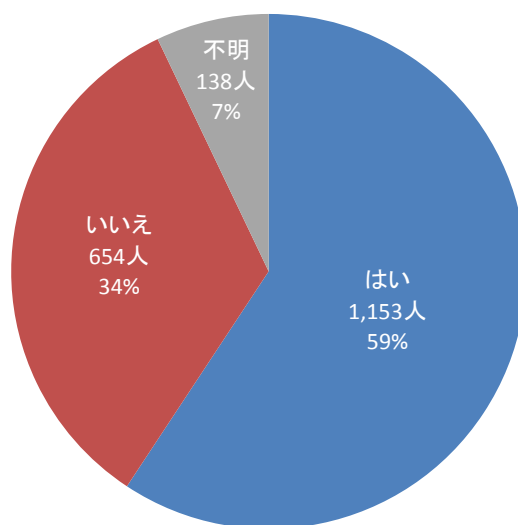


図 2-11 回答者の市民参画への関心 (n=1,945 人)